

TOKIMAKE



クリエイティブのヒント、 トキメキを作るには？

2016年2月22日(月) JIDA インハウス女性デザイナー研究会
第29期研究報告会のご案内

受付 16:45~17:20 報告会 17:30~18:30 懇親会 18:30~20:00

〒106-0032 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F **AXISギャラリー**

参加費 **2,000円**とお名刺 **2枚**をご用意ください。トキメキアイテムをプレゼント*

参加ご希望の方は下記までご連絡下さい。【お申し込み期限：**2月5日(金)**】

JIDA事務局：jidasec@jida.or.jp

第29期 JIDA インハウス女性デザイナー研究会

* 数に限りがあります(限定50個)

平成28年1月21日

各位

JIDA インハウス女性デザイナー研究会

**JIDA インハウス女性デザイナー研究会
第29期研究報告会のご案内**

拝啓 梅の候、みなさまにおかれましては益々のご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素より当研究会への格別なご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年度のJIDA インハウス女性デザイナー研究会では、「人を惹きつける商品やサービスは、人をときめかせる特別な要素を持っている」との仮説の元、本年度の研究テーマを「クリエイティブのヒント、トキメキを作るには？」とし活動を進めて参りました。調査対象を世代や職業、性別で限定することなく幅広く構えた、トキメキの要因解析や種類分析、ワークショップ等の活動を重ね明らかになった、「トキメキの実態」「トキメキを生み出すコツ」「裏ワザ」などについて報告会を開催致します。ご多忙の折とは存じますが、研究報告会にご出席頂きたくご案内申し上げます。

敬具

1. 日時 2016 年 2 月 22 日 (月) 17:30~20:00
2. 会場 AXIS ギャラリー (AXIS ビル 4階)
〒106 0032 東京都港区六本木 5-17-1 AXIS ビル
3. 要目 開場・受付 16:45~17:20
報告会 17:30~18:30
懇親会 18:30~20:00
4. 会費 2,000 円 当日受付にて会費を集め、領収書を発行致します。

*お越しになる際に、名刺を 2 枚ご準備願います。

平成28年1月21日

JIDA インハウス女性デザイナー研究会 2015年度 第29期活動趣旨書

JIDA インハウス女性デザイナー研究会では、第29期の活動を以下のとおり計画し、進めてまいりました。今後とも一層のお力添えを賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

1. 運営

(1) 研究会

本会は、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会の賛助企業でデザイン部署等に所属する女性で構成する。

本年度参加企業（五十音順）：キヤノン（株）/セイコーエプソン（株）/（株）東芝/
トヨタ自動車（株）/日産自動車（株）/富士ゼロックス（株）/三菱電機（株）

(2) メンバーと役割

運営委員は1年毎の改選とする。

<本年度運営委員>

亀川	茉那	セイコーエプソン（株）	・・・委員長
岩井	彩乃	キヤノン（株）	・・・副委員長
坂田	礼子	三菱電機（株）	・・・会計
河野	さゆり	（株）東芝	・・・副会計/報告書作成
小林	香奈	トヨタ自動車（株）	・・・報告書作成
後藤	萌美	（株）東芝	・・・記録/写真
浦上	依里	日産自動車（株）	・・・研修
小谷津	のぞみ	キヤノン（株）	・・・研修
大久保	恵	富士ゼロックス（株）	・・・研修

2. 活動方針

(1) 研究テーマ活動

本会は、インハウスデザイナーの視点から通年の研究テーマを設定し、これに沿った活動を行う。

(2) 異業種交流体験の充実

各社の特色を生かした知見の広がる場を設け、各自の新しい気づきを促す。

(1) (2) の活動を行うことにより、各メンバーのスキルアップと独自視点の研究報告によって参加企業に資することを目的とする。

3. 活動内容

(1)本年度研究テーマ 「クリエイティブのヒント、トキメキを作るには？」

<背景>

本年度は過去数年間続けてきた「アラサー」目線の活動から脱却。

日常の業務では関わる事のできない様々な価値観・世代や職業、性別の方と積極的に交流し、視野を広げることを前提に活動を開始した。

<テーマ決定の経緯>

気になる商品やサービスに出会ったときの「あ、いいな」という感覚やドキドキワクワク、そして衝動買い。惹きつけられる商品やサービスは、人をときめかせる特別な要素を持っている。その要素を明確にする事が、お客様を惹きつけるデザインのヒントに繋がるのではと仮説を立て、活動を開始した。

(2)具体的活動

<1：課題の可視化>

メンバー自身の「経験を積むほど好きなものやときめくモノの傾向が偏る」という実感から幅広い視野で知見を広げるべく、俯瞰的にトキメキのバリエーションを可視化した。

- ・我々が普段何にトキメキを感じているか
- ・価値観や世代、職業、性別を限定しない世のトキメキの調査
(フィールドワーク・インタビュー・パネルディスカッション等)

<2：課題の明確化と分析>

次に、何故どの様なところにどうトキメいたのかを掘り下げた。

- ・ときめいた状況とトキメキの種類を分析 (パネルディスカッション)
- ・トキメキの特性を分析と定義づけ
- ・各自が惹きつけられないトキメキは何か、どのトキメキは商品になりづらいか

<3：アウトプット カード型オリジナルツールの開発>

トキメキを発想の切り口としてアイデア創出を助けるツールを開発。複数回ワークショップを重ね、トキメキあふれるデザイン創作に活用できるものを目指した。

(2)活動実績

研究会は毎月一回の開催を基本とし、以下の内容で実施。

- ・定例会 (テーマ活動、各企業訪問) 年10回
- ・研修 年1回
- ・研究報告会 年度末1回

以上